

>>>> 溶接技術振興功労者（団体・個人）を受賞 <<<<

10月4日に鹿児島県溶接協会 創立50周年式典が鹿児島市で開催され、当センターが溶接技術振興功労者（団体）として、表彰状と寄付金を頂きました。

また、生産技術部の瀬戸口正和部長，牟禮雄二研究専門員，岩本竜一主任研究員，企画支援部の南晃研究専門員の4名が，溶接技術振興功労者（個人）として表彰されました。



石塚俊雄会長（右）から表彰状の授与

>>>> 研究成果普及セミナー in 奄美を開催 <<<<

11月19日に当センター奄美分庁舎において研究成果普及セミナーin奄美を開催しました。

今回のセミナーは、大島紬製造に関するものや黒糖焼酎の製造に関するテーマなど大島地域に関連した研究成果7テーマの口頭発表及びポスターセッションが行われました。各方面から51名の参加があり、聴講した方からは「今後の物作りに参考にしたい。」「紬の製造だけでなく販売に活かせる。」などのご意見が出されました。

またポスターセッションにおいては、展示された試作品などを手に取り、「詳しいデータや資料

などはどこで入手できるのか」など担当者に質問する熱心な光景が見られました。



セミナーの様子

>>>> 九州・沖縄産業技術オープンデーで成果を発表 <<<<

11月27日にサンメッセ鳥栖と産業技術総合研究所九州センター（佐賀県鳥栖市）において、九州・沖縄産業技術オープンデーが開催され、各方面から約400名の参加がありました。

当センター企画支援担当の中村研究主幹が、(有)アーキ・テックの入来院洋一 代表取締役とともに「炭酸ガスレーザ加工技術を用いた『パズルカヌー』の開発」のテーマで口頭発表しました。

また、「サツマイモ焼酎粕からの機能性糖の抽出による健康食品の創製 -機能性糖の抽出条件および工業的製法の検討-」，「小径Mg合金棒の同時加熱ヘッドリング加工」，「木造建築部材の耐久性向上技術に関する研究」，「半導体部材に

適したDLC薄膜作製技術の研究」の4テーマについてパネル発表を行いました。



発表の様子

>>>> JICA青年研修事業によるインド研修団が来所 <<<<

12月3日に、JICA青年研修事業によるインドの財務省などの職員や、政府系銀行関係者などの研修団17名、が来所されました。

「ナマステー（こんにちは）」のあいさつの後、和やかな雰囲気の中、センターの概況説明や施設見学が行われました。地域資源を活かした技術支援や研究開発について熱心に質問をしたり、メモや写真を撮るなどされていました。「今回学んだ研修を自国に戻ってから役立てていきたい」という感想をいただきました。



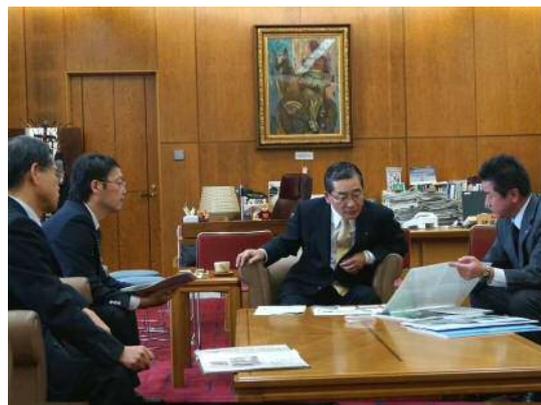
所内ガイダンスの様子

>>>> 優れた製品開発企業2社が知事を表敬訪問 <<<<

12月12日に、当センターが技術支援を実施し、優れた製品開発を行った県内企業2社が知事を表敬訪問しました。

交和電気産業(株)は、単一の発光源で、明るく太陽光に近い自然で美しい色を再現できるLED照明を開発し、平成25年度 第5回ものづくり日本大賞 九州経済産業局長賞を受賞しました。

(株)南光は、厚さ3ミリの鋼板を用いたブラケット（L字型支柱金具）を開発し、平成25年11月4日に竣工した七ツ島メガソーラー発電所に採用されました。



表敬訪問の様子

>>>> 「静電気放電発生箇所可視化方法及び可視化装置」が特許登録 <<<<

県が平成21年3月30日に特許出願していました「静電気放電発生箇所可視化方法及び可視化装置」が、平成25年10月4日に特許登録（特許第5374687号）されました。

本発明は、静電気放電に伴う電磁波を受信するための複数のアンテナ、被測定物を撮影するビデオカメラ、ビデオカメラの撮影範囲を調べるための方位・仰角基準板を一体化した治具を被測定物付近に設置し、放電に伴う電磁波が、各アンテナへ到達した時間差から、双曲線法を用いて放電源の座標を算出し、被測定物のビデオ画像上に放電源を示すマーキング表示や、経過時間などを表示することで、被測定物において静電気放電が発生する様子をビデオ画像で可視化する手段を提供します。

